

◇2016年経済地理学会 奈良地域大会（関西支部）【第1報】◇

1. 大会テーマ：中山間地域における農林業再生

2. 大会の趣旨

日本の高度経済成長期において大量の労働力人口が地方から大都市圏に移動した結果、地域社会の基盤が変動し、生産機能や生活環境の維持・整備等が困難となった過疎地域を生み出した。1970年に出された最初の「過疎法」以来、時限立法としてこれまで4次にわたって「過疎法」が制定され、各種の対策が講じられてきた。しかしながら、経済のグローバル化の中で過疎地域の既存産業は取り残された状態にあるうえ、急速に進む少子高齢化によって地域社会の維持さえも困難になっている。過疎地域が抱えるこうした問題は、これまでの経済地理学会大会および地域大会において何度となく議論されてきたが、過疎問題に対する処方箋は一筋縄ではいかなかった。

そこで、今回の奈良地域大会においても継続して、過疎地域再生に向けての議論を行いたい。本地域大会では、過疎地域の多くを占める中山間地域を取り上げ、従来の基幹産業である農林業の再生や地域雇用の創出をめざした具体的な取り組みについての報告をもとに議論を行い、地域資源の有効活用による経済基盤安定化や地域コミュニティの維持に向けての方策を模索したい。

3. 日程：2016年10月22日（土）・23日（日）

10月22日（土）

10:00～11:00 常任幹事会

11:00～12:00 評議会

13:00～17:00 シンポジウム

17:30～19:30 懇親会

10月23日（日）

9:00～16:30 エクスカーション

4. 会場：奈良女子大学（奈良市北魚屋西町）

近鉄奈良駅下車 1番出口から徒歩約5分

アクセス <http://www.nara-wu.ac.jp/map/accessmap.html>

5. シンポジウム

基調講演：金 科哲（岡山大学）

個別報告：中條暁仁（静岡大学）、秋津元輝（京都大学）、秋谷奈美（奈良県下市町役場 地域づくり推進課地域おこし協力隊）

コメンテーター：宮地忠幸（国士舘大学），寺岡伸悟（奈良女子大学）

6. エクスカーション

テーマ：奈良の元気な地場産業と農林業持続に向けた取り組み

行き先：「靴下の町」（広陵町），五條市重伝建保存地区（五條市新町通り），農家レストラン「農悠舎王隠堂」（五條市西吉野町），奈良県農業協同組合西吉野柿選果場（五條市西吉野町）などを予定

7. 問い合わせ先

〒631-0823 奈良市北魚屋西町

奈良女子大学研究院人文科学系 吉田容子

email yoko(at)cc.nara-wu.ac.jp ※お手数ですが(at)は@に置き換えてください